

ボッチャ協会を設立



ボッチャを楽しむ子どもら

初の大会に130人

東京、パリリンピックで日本選手が金メダルを獲得し、注目を集めたボッチャ。その楽しさを広めようと、愛好家らが「西区ボッチャ協会」を設立し

ました。西区役所講堂で3月25日、初の主催大会「西区ボッチャフレンドリーカップ」が行われました。老人会や子ども会を通じた告知、チラシなどで、広く参加を呼び掛け。子どもからお年寄りまで130人

の有無や年齢、性別、国籍などの垣根なく、誰でも気軽にできます。楽しく友好の輪を広げましょう」とあいさつしました。日本福祉大の学生によるデモンストレーションの後、全員で練習。ボールの扱い方やルールを学びました。試合では2〜6人の20チ

が集まりました。赤や青のボールを投げたり転がしたりして、目標の白いボールへいかに近づけるかを競います。開会式では坂本雅史会長が「ルールは簡単。障害

ームに分かれ、トーナメント戦で競いました。参加者は「初めて会った人と一緒に、こんなに盛り上がるなんて」と驚いた様子。負けて悔し泣きするほど、熱中する子もいました。

ほかに紙飛行機大会や菓子まきなどもあり、笑顔が絶えない1日となりました。同協会は今後、各地でボッチャ体験会を開く予定です。



ルールを丁寧に説明